

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	市立病院の経営が健全である	
施策名	市立病院の健全経営を推進する	No.5

年度	平成28年度
責任部長	病院事業部長
主担当課長	経営企画課長
関係課	市民病院事務局管理課・業務課、木曾川市民病院事務局業務課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値		実績値				目標値
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
人(医療従事者)、施設、資金が適正に使われていると思う人の割合(%)	→	45.4	44.6	51.6	53.8	53.9	54.9	52.3
経営改善指標の改善度(%)	→	—	—	97.4	95.5	92.4	102.2	99.2
経営意識を持って行動している市職員の割合(%)	→	102.2	103.6	103.5	100.5	101.7		101.4
診療収支(百万円)	→	▲ 1,533	▲ 2,149	▲ 1,991	▲ 2,889	▲ 1,853	▲ 152	▲ 1,322
		▲ 152	▲ 31	▲ 208	▲ 1,058	▲ 649		▲ 1,118

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

公立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしているが、近年、多くの公立病院において経営状況が悪化するとともに、医師不足に伴い診療体制の縮小を余儀なくされるなど、その経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっている。このような状況の中、公立病院が今後とも地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、多くの公立病院において、抜本的な改革の実施が避けて通れない課題となっている。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	A	一宮市において「病院事業改革プラン」を策定し、改革を進めた結果、「診療収支」においては最終目標値を上回っており、「人(医療従事者)、施設、資金が適正に使われていると思う人の割合」、「経営改善指標の改善度」、「経営意識を持って行動している市職員の割合」においてもほぼ順調に推移している。 いずれも目標値に向け推移しており、めざすべき姿に向け改善傾向である。
------	---	--

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。		
評価			
次年度の改善計画			

 市民からみた計画の進捗状況 □A □B □C

- ・A判定(改善傾向) 36%
- ・B判定(停滞) 50%
- ・C判定(悪化傾向) 14%

